

## 別紙

## 公開概要書

受付日	令和3年7月2日	回答日	令和3年8月3日	担当課	都市整備課
意見等の内容	ひとまる大橋の左岸架橋下に歩行者・自転車通行者用通路（アンダーパス）を整備してほしい。サイクリング・ウォーキングロードとして、地域観光資源の一助となる。				
回答の内容	<p>清流高津川沿いは、自然豊かな風景と心地よい風を感じながら健康のためにウォーキングする人、通学のため自転車で走る学生、スポーツ自転車でサイクリングを楽しむ人、鮎釣りやバーベキューを楽しむ人など、市民が気軽に楽しめるスポットとして昔から親しまれています。また高津地区の八朔祭での流鏝馬行事、豊田地区でのいかだ流し大会や水泳マラソン大会、民間団体によるカヤック体験やサイクリングイベント等も開催され、高津川沿いは市民活動の場としても活用されています。</p> <p>ひとまる大橋の右岸（須子川）の通路は、河川管理道が市道であることから、都市計画道路元町人麿線・須子中線の整備にかかる車両等の通行の機能補償として、道路を整備しております。左岸（高津側）は河川管理道が市道でないことから整備していない状況です。</p> <p>一方で現在、益田市では国の事業を活用して、高津地区から豊田地区までの間の高津川沿いを活用したサイクリングロードの整備と、併せて高津地区と豊田地区に市民の活動拠点を整備し、地域の景観や観光資源、歴史文化等の地域資源と河川とを結び付けて地域の活性化を図る「高津川かわまちづくり計画」の策定に向けて、河川管理者（国）と地域住民、民間事業者、市が連携して協議会を作り協議検討を進めているところです。</p> <p>この計画の中ではご提案にもある、橋の下をくぐるアンダーパスの整備も協議検討しており、河口付近から匹見川合流地点までを一つの線で結べるようなサイクリングロードを整備できるよう検討しているところです。ご提案のように高津川の両岸にアンダーパスやサイクリングロードを整備することにより往路と復路で両岸の違ったコースを楽しみながら走ることが可能となります。</p> <p>ご提案を今後、高津川かわまちづくり計画の中にどのように反映できるか、関係者と協議検討を進めてまいりたいと考えております。</p>				